

■**児島惟謙** 司法官僚。独学で大審院長まで昇り、直後の〈大津事件〉で司法の独立を守るが、陰謀により辞職に。

こじまいけん

大塩平八郎乱1837= 生。伊予国宇和島の出身。母が離縁され、里子に出される。

宇和島藩は開明的なところで、高野長英や大村益次郎などを招いている。

天保改革始・1841= 4歳：父が再婚し、生家に戻る。

天保改革終・1844= 7歳：文武の修行を始める。

阿部正弘首座1845= 8歳：

孝明天皇・・・1846= **9歳**：

国定忠治疎・1850=13歳：父が禄を辞し、緒方姓に戻ったため、

万次郎帰国・1852=15歳：緒方家に寄食。

ペリー来航・1853=16歳：

開国開港・・・1854=17歳：生家に戻る。

安政大地震・1855=**18歳**：小西壮一郎方に寄食。

蕃書調所・・・1857=20歳：宇和島藩家老野本に出仕、文武の修行に専念。

安政の大獄・1859=22歳：剣道師範の免許を受け、藩内各所より剣道教授として招聘される。

桜田門外変・1860=23歳：

生麦事件・・・1862=25歳：土佐藩郷士の塾に赴き、高知、西条、松山を遍歴。

8月18日政変 1863=26歳：船手組今城勝助別荘に寄寓。

禁門の変・・・1864=**27歳**：大洲、松山、今治、高松を遍歴。

薩摩藩士密航1865=28歳：藩の禁漁区に網を打ち、即時追放となる。長崎で坂本龍馬らと接触などして帰藩。

薩長同盟・・・1866=29歳：大坂・京都にて勤王運動に奔走。

大政奉還・・・1867=30歳：宇和島藩を脱藩して倒幕運動に参加。

明治維新・・・1868=31歳：戊辰戦争に従軍。

戊辰戦争終・・・1869=32歳：新潟県御用掛を拝命し、新潟港開港に寄与したとして褒賞される。

初の日刊新聞1870=33歳：品川県少参事を経て、

廃藩置県・・・1871=34歳：**司法省に出仕。それまで法律を体系的に学んだこともなく、留学もしていなかったが、この時から、コンセンサス(常識)と融通性を武器に、実践の中で法律を身につけて行く。**

明治6年政変 1873=**36歳**：

佐賀の乱・・・1874=37歳：結婚。

三つの反乱・1876=39歳：名古屋裁判所長、

琉球処分・・・1879=42歳：大審院民事乙局長、

明治14年政変1881=44歳：長崎控訴裁判所長、

新体詩抄・・・1882=**45歳**：

岩倉具視没・1883=46歳：大阪控訴裁判所長、

帝国大学始・1886=49歳：***大阪控訴院長、関西の司法官とともに大阪に関西法律学校を開校(関西大学の前身)。**

帝国憲法発布1889=52歳：

足尾鉞毒始・1891=**54歳**：***大審院長に就任。その直後、大津事件に際会。青木外相のロシア公使に対する事前の約束にしばられた政府から、犯人津田三蔵に皇族に関する刑法規定を準用して死刑とするよう要請されるが、外国皇族に関する規定がない以上通常謀殺未遂の罪をあてるよう担当裁判官を説得、無期徒刑を判決させる。これにより“護法の神”と称せられるが、その法意識は人権擁護よりも国権主義にもとづいていた。**

大本教・・・1892=55歳：***不服とする者たちから仕掛けられた大審院判事の花札賭博(弄花)事件の責任をとり辞職、**

日清戦争始・1894=57歳：貴族院議員に勅選。

子規句歌革新1898=61歳：衆議院議員に当選。二十銀行頭取に就任。

ピアノ国産化・1900=**63歳**：

教科書疑獄・1902=65歳：衆議院議員の任期満了。

日露戦争終・1905=68歳：再び、貴族院議員に勅選。

アヲキ創刊・1908=71歳：東京の自宅で**没した**。